

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2376300246
事業所名	グループホーム東栄の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 人情味あふれる山村に立地し、ホームは様々な社会資源とつながりを持っている。 ホームもまた、地域の一社会資源として地域からの信頼を得ており、ホームの利用を待つ待機者は常に10名程度に上る。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 指定権者(町)による参酌基準の適用により、会議の開催は年4回である。 行政代表として町・福祉課担当者と地域包括支援センター職員、地域代表として区長と民生委員・児童委員、加えて家族代表の参加がある。 かつては利用者も参加していたが、参加後に不穏状態となることから現在では参加を控えている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 運営推進会議には必ず町の担当課職員が出席し、ホームの状況を把握すると共に必要な情報を提供している。 生活保護受給者2名の利用があることから、県・設楽事務所とも連携を図っており、福祉課担当者が定期的にホームを訪問している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 遠隔地に住む家族を除けば、ほとんどの家族が毎月ホームを訪問して情報交換、情報共有を図っている。協力的な家族が多く、かかりつけ医への定期受診に家族が帯同することも多い。 ホーム便り「ありのまんま」は年間3回程度の発行であるが、気になることがあれば、毎月の請求書発送時に管理者が自筆の手紙を添えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎		